活動組織の名称 ※ふりがなを忘れずに！	とみたかんきょうまも　かい 冨多環境を守る会
所在地	福岡県三井郡大刀洗町大字冨多

取組開始年度	共 同 活 動	平成１９年度	向 上 活 動	―

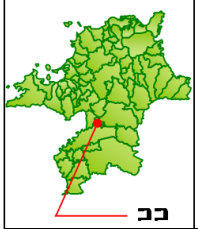
協定の対象となる資源

	地　　目	田（a）	畑（a）	計（a）
農　用　地	協定農用地面積	5,877	59	5,936
	対象農用地面積	5,877	59	5,936

	開水路（km）	パイプライン（km）	農道（km）	ため池（箇所）
農業用施設	12.5	―	9.8	―

農村環境向上活動（H23まで）として実施した取組 ・設定したテーマに○印	設定したテーマ	実践活動項目	（取組内容を具体的に）
	①生態系保全	外来種の駆除	外来のｼﾞｬﾝﾎﾞﾀﾆｼ対策として、卵の掻き落としや成貝捕獲による駆除。落水後、耕起して貝破砕と冬の寒気にさらす。また、大豆転作等で乾燥にさらすなどの駆除方法を周知し実施を促す。
	②水質保全	水田からの排水（濁水）管理	濁水防止のため、土面が７～８割見える低水位で代かきをする「浅水代かき」や、排水を止め代掻きし、実施後は水質透度を確保して排水する「落水管理」を周知し実施を促す。
	③景観形成・生活環境保全	施設等の定期的な巡回点検・清掃	老人クラブ、子ども会、ﾐﾆﾃﾞｨﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、青壮年部ほか区域内の各種組織が連携した美化活動(空き缶ゴミ拾い)を実施する。
	④水田貯留機能増進・地下水かん養		
	⑤資源循環		

地域の状況 ・地区の位置 ・資源保全に係る過去と現在の違い ・地域資源と住民との関わり　など	・大刀洗町南部中央域の東側に位置し、水稲を中心にした農業地域である。域内には大きくは２つの農事組合があり、その１つは営農と機械利用の組合を組織し、一部集団作業による米･麦･大豆の生産を行っている。 ・圃場整備済みで農業環境は整っている。施設の維持管理は農事組合毎に管理し運用されてきたが、高齢化と農業者の減少の中、施設の経年劣化による破損、ゆがみ、水漏れ、泥堆積など、維持負担が大きくなっている。 ・農業施設の維持管理は農業者で実施するもので、農業者以外は関わっていなかった。
活動や取組の内容 ・組織の構成 ・地区の目指す方向 ・活動の概要　など	・農業者、冨多区、老人ｸﾗﾌﾞ、子ども会育成会、ﾐﾆﾃﾞｨﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、青壮年部等の組織で構成する。 ・劣化施設の補修や、近年停滞気味の共同作業を活性化し設備能力を維持するとともに、農村環境を地域の貴重な資源として、非農業者も参加同意しうる事業を企画・実施する。 ・非農家に農村景観の共有を実感してもらうため、住民参加の美化作業(空缶拾い)や、農道法面に防草ｼｰﾄを張りこれに穴を開け花を植栽したり、その後の除草作業などを実施している。
成果・課題 ・成果 ・苦労した点 ・今後の課題など	・劣化破損していた施設の補修を実施した。泥上げについて、用水路は毎年実施しているが、不定期に実施していた排水路は近年は未実施であったものが再開された。また、草刈作業の軽減を図るため、一部区間であるが農道法面に防草ｼｰﾄを設置した。 ・一区域に営農組織があるが、全般に米作中心の小規模な兼業農家が大半であり、今後は後継者不足から農業施設の維持管理が困難な状況が予想される。ただ、農業者以外の構成員数は維持され、美化作業など景観維持の作業参加は得れるものと思われる。
取組を実施するにあたってのキーワード（５つ以内）	・排水路泥上げ　・防草シート設置　・空缶拾い
将来の夢・展望	・実質的な農業者数は高齢化と後継者不足から、さらなる減少が想定されるが、農村環境が地域共有の貴重な資源であることを啓蒙し、住民全体で共同活動を実施することで、農村環境の保全活動に取り組みたい。

県内位置図	主な活動状況の写真		
			
（写真について簡単な説明）	水路泥上げ	防草シート設置	空缶拾い